

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	クラフトでつながる村づくり 手仕事の温もりをつなぐ村づくり		
事業主体 (連絡先)	原村観光連盟		
事業区分	産業振興、雇用拡大(特色ある観光地づくり)、教育、文化の振興		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	771,309円	(うち支援金:)	563,000円

事業内容

原村には古くから行われてきた裂き織があり、手仕事やクラフトの作家も多くいる。その特性を生かして、村の活性化をはかり、交流を深めるための活動に取り組んだ。

- ・SNSセミナー 7月3日 原村商工会 30名参加
- ・文章力アップセミナー 11月13日 原村商工会 50名参加
- ・まちゼミ ①勉強会 9月5日、11月20日 原村商工会 20名参加
②2月3日~29日 各店舗18店 150名程度参加
- ・体験販売イベント 2月2日 八ヶ岳自然文化園

事業効果

- ①支援金を活用することで多くの人々の目に留まり、活動に賛同して参加してくれる人が増えた。
- ②広報として、個人が使いやすいSNSだけでなく、新聞広告も使い、広い世代に知らせることで幅広い年齢層に参加してもらい、喜びの声を頂いている。また、小さな店の魅力を知らせることが出来、店舗側、参加者側、共に満足のいく活動となった。
- ②村内の店舗、工房を訪れる人の数がH30年度より20%前後増加している。
- ③来年度のイベントに対しても色々な可能性の声掛けを頂いており、励みになっている。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

活動を通じて、孤立しがちな作家同士の横のつながりが出来てきている。お互いをフォローし合うことで、より村内の店舗が活発な活動をしていくことを期待したい。

また、温暖化が続く中、冬でも訪れやすい原村を目指し、通年観光を構築していく。

来年度事業でHPやシステムを整備し、その後も継続できるよう基盤を作り、長く続けていきたい。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(活動写真)



【イベントの様子】

【目標・ねらい】

- ① クラフトによる地域活性化
- ② 通年観光
- ③ 関連人口の増加
- ④ 観光客の増加

※自己評価 【A】

【理由】

- ・参加者が昨年より20%ほど増えた。
- ・次年度の取り組みを楽しみにしている声を頂いている。
- ・想定外の多くの人に関わって頂いた。